



ダレン家の少女・ビスアがはじめて目にするものに心動かされるように、また家族を思いやる気持ちと未来への不安をともに感じるように、この映画を通して自分もまたあらたな視座を得た気がします。生活と繊細な心が写っていました。

————— 今泉力哉 (映画監督)